

重要なお知らせ

転換・少人数科目「基礎ゼミ」実施方法の変更について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年度の「基礎ゼミ」は下記の内容のオンライン授業に一本化して実施することとなりました。基礎ゼミを受講予定の方については、受講希望届の選択に関わらず、全員別紙のオンライン授業を受講いただきます。

今回用意した授業は、「調べる→考える→表現する」という分野に依存しない学びの基本形態の習得を目指す、いわば「学び方を学ぶ」科目です。皆さんは、東北大学の学生であり、専門家や学術コミュニティのメンバーであり、社会を支える市民の一人です。積極的に本科目を受講していただき、様々なアングルから、大学での学術研究の在り方とそれに携わる者の姿勢を考えていきましょう。

注意事項

1. 「基礎ゼミ受講希望届」の選択に関わらず別紙のオンライン授業を履修登録します。履修登録は教務課で履修登録期間後に行いますので、学生の皆さんは履修登録手続きは不要です。
2. 授業の開始日がほかの授業と異なります。一般の授業は4月20日から試行・習熟期間を経て授業開始となりますが、「基礎ゼミ」の授業は5月11日(月)～8月3日(月)を視聴期間とします。
3. 本科目は集中講義として取り扱います。原則として月曜午後(3・4・5講時)の視聴を想定していますが、オンデマンド型授業のため、ほかの科目との重複が生じる場合は別の時間に視聴しても構いません。
4. 学部・学科によって「基礎ゼミ」の単位の扱いが異なります。
 - ・教育学部、理学部、医学部保健学科、歯学部、薬学部、農学部
必修科目となります。卒業するためには必ず履修して単位を修得する必要があります。
 - ・文学部、法学部、経済学部、医学部医学科、工学部
必修科目ではありませんが、履修することを強く要望する科目です。特別な理由がない限り履修を推奨しますが、万一履修しない場合は、履修取消期間(~~5月8日(金)～5月21日(木)~~) (**変更:5月15日(金)～5月28日(木)**)に必ず所定の手続きを行ってください。
手続き方法は後日全学教育ホームページ
(<http://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku.html>)に掲載します。

大学での学びのいろは

教材配信時期:5月11日～8月3日(1セメ集中)

※毎週月曜午後の視聴を想定しますが、空き時間での視聴でも構いません

(2単位) 対象学部:全 担当教員:中村 教博 開講セメスター:1 科目ナンバリング:ZGS-IDS801J

使用言語:日本語

1. 授業題目:
大学での学びのいろは
2. 授業の目的と概要
高校までに総合的学習や探求活動を体験してきたと思います。その土台の上で、大学では、もっと主体的に「何を、どう学び、どのようになりたいのか」を自分自身で考え、専門分野の知識ばかりでなく広く学問領域の見聞を深め、その学修機会を求める姿勢が期待されます。この姿勢を持つことで、大学での学びは格段に充実します。
この授業は、1. 知を扱う基本スキルを学ぶ、2. 知を受け継ぐ者としての心構えを持つ、その上で、3. 自分自身を見つめ直し、「何を、どう学び、どのようになりたいのか」を考える、という3点を目的にしています。皆さんは、東北大学の学生であり、専門家や学術コミュニティのメンバーであり、社会を支える市民の一人です。これらの様々なアングルから、学術研究の在り方とそれに携わる者の姿勢を考えていきましょう。
3. 学修の到達目標
【知識・理解】学術研究とそれに携わる者に期待される事柄を知る。
【関心・意欲】学習意欲を持てる対象を探し、それを学習する機会を探す。
【思考・判断】「何を、どう学び、どのようになりたいのか」について、暫定的な答えを出す。
【表現・技能】知を扱う基本スキルを体験し、振り返る。
4. 授業の内容・方法と進度予定
第1回:ガイダンス 授業概要を説明する。
第2回・第3回・第4回・第5回・第6回
デザイン思考に関する動画等を用いて、その概要を理解するとともに、ワークを疑似体験する。
第7回・第8回:大学
東北大学の歴史に関する動画等を参考に、東北大学について理解し、自分でも探究する。
第9回・第10回:専門
様々な専門分野の核となる部分を知り、自分の専門性について理解を深める。
第11回・第12回:倫理
ケーススタディを通して、学術研究に携わる者に期待される心構え(特に倫理的側面)について考える。
第13回・第14回:科学技術と社会
ケーススタディを通して、社会を支える市民として、科学技術と社会の関係について考える。
第15回:振り返り
これまでの授業を振り返り、「何を、どう学び、どのようになりたいのか」に暫定的な答えを出す。
*ただし、オンライン授業なので、実際の進度や順序は、学生ごとに異なる。
5. 成績評価方法
成績評価は、A(合格)もしくはD(不合格)のいずれかになります。
クイズの回答やワークの提出、動画視聴状況等で判断します。
遠隔授業に関するアンケートへの回答を必須とします。
6. 教科書および参考書:
7. 関連URL:
ISTU上に課題を掲載
8. 授業時間外学修:
オンライン教材内で出される課題への取り組み、オンラインでの情報交換。